

# 献血の手順

## 1 献血受付



献血にご協力くださる方への手引き「お願い」を熟読し、理解した上で、献血申込書に記入します。身分証明書などの提示をお願いし、本人確認を実施しております。

## 2 問診票の記入



輸血を受ける患者さんに安全な血液を届けるため、また、自分自身が安全に献血をするため、問診票の質問に正確に回答してください。

## 3 血色素量の測定、血液型事前判定



貧血の心配がないか、血色素（ヘモグロビン）量の測定と血液型の事前判定を行います。成分献血の場合は、血小板数の測定も行います。

## 問診および血圧測定



記入した問診票に基づき、問診と血圧測定を行います。問診内容のフライバシーは厳守されるので正確に答えてください。

## 4 献血 (成分献血・400ml・200ml)



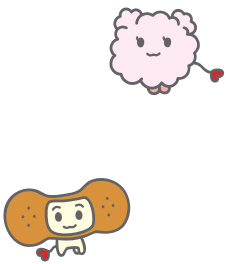
採血ベッドに横になり採血を行います。採血針を刺したときの痛みはすくなく和らぎますが、痛みが続いたり、指先まで響くような強い痛みがあれば、医師や看護師にお知らせください。

使用される採血針や献血バッグは一人ひとりに新しい物を使用しています。

## 5 休憩



採血後には、休憩場所で十分に水分をとり、休憩してください。



## 6 献血カードの受取り



献血カードを受け取ります。今後の献血記録になりますので、大切に保管してください。



## 献血後の注意

献血の後、気分が悪くなったり、針を刺した場所に痛み、しびれが残る場合には、すぐに血液センターに連絡してください。

また、21ページの献血後の注意事項をよく読み、記載事項に注意してください。

HIV（エイズの原因となるウイルス）の感染の恐れがありながら、献血してしまった場合には、採血後に渡されるチラシに従って、献血当日に血液センターに連絡してください。フライングは厳守されます。

